

知恩教院ちおんけうゐん

〔大谷寺と号す。此地むかし正久寺じやうきう常在光院じやうわう白毫寺びやくがう太子堂及びしやくしんらん釈親しやくしん鸞聖人の墓あり、あるひは廢しあるひ

は他境へ遷す〕

しら雲と見つゝも人のむれたつかなべてを花のいたゞきの山 狼 狽 窟

なには女や京を寒がる御忌詣 蕉 村

御忌の鐘ひゞくや谷の氷まで 同

御忌のかね淀も鞍馬も平等に 八十一隻嘯 山

松が崎耳ふさぐべし御忌の鐘 其 諺

知恩院に至りて

町中に桜分入るや知恩院 蘭 更